



## 第34回 市教組定期大会、開催される！NO.5

今大会で論議されたものです。

### 篠田代議員からの質問②③

②2点目です。新採養護教諭指導教員の現状をお伝えしながら、質問させていただきます。25年度新規採用の養護教諭は4名、いずれも複数配置校に着任しています。いつの頃からか養護教員部でも把握出来ていませんが、複数配置校において、その相手に新採指導教員を担わせるためです。今年度は、1400人規模の小学校、2人ともに今年異動・着任したばかりで学校の実態も分からない状況の中学校、新採3年目で自らも年次研を抱えながら新卒新採を受け持ち、あるいは再任用で気力も体力ももはや十分とは言えないことが明らかな状況で受け入れざるを得なかった特支2校です。いずれも、希望でもなく事前に打診があったわけでもない当然の義務？強制？の中で対応しています。私たち現役の養護教諭は、自ら名乗りを上げこの新採指導のみを生業にしている退職管理職とは全く立ち位置が違います。私たち養護教諭は、通常の仕事～特に4月からの3ヶ月間は目まぐるしい忙しさの中、日々心身ともに青息吐息の状態です。今は新採養護教諭に十分に係わることができないという申し訳なさもあり、保健課のこの安直なあてがい方は指導教員である側にも新採養護教諭にも甚だ失礼ではないかと感じているところです。そこで執行部の方々には、その実態を把握していただいた上で、今後どのように対応していただけるのかお知らせください。

③3点目は、上記2点にも関わることですが、やはり組織は「数は力」です。高齢化の極みの私たち市教組にとっては組織拡大が重要な課題だと痛感しています。先ほど、田中書記長からも組拡の取組みについてお話を頂きましたが、あらためて「組愛力キャンペーン」の具体的な取組みとその成果、アプリ「TUNAG」～私はラムちゃんの大ファンですが～その実施状況や普及率等お知らせください。また今後新たな取組みをご検討されているようであれば、お知らせいただくと私たちの励みにもなります。どうぞよろしくお願いいたします。

### ②田中書記長の答弁

○今日初めて知った。現場の実情を聞きながら秋の確定交渉で要求項目に挙げていきたい。

### ③岡本組織部長の答弁

○組合力キャンペーンについては、成果として2024年度と2025年度6月までで、28名の加入がありました。配布されたリーフレットを見て、「講師でも加入できますか？」「組合はどんな活動をされていますか？」とか、自発的にご連絡をくれたことが本当の成果だと考えています。

○「TUNAG」アプリの普及率と使用状況については、普及率は約60%です。100%を目指したいと考えています。使用内容については、分会長会のレジュメだったり、組織強化に特化している内容だと考えています。みなさんに確実に届くすぐ便利なツールです。通信費90万を予算立てしているけど、分会長会の資料等TUNAGアプリによって削減することができ、他の組織拡大強化に使える予算になればいいなと考えています。



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL(093)953-0381

